補	助	7	事	3.57	業	名	屋良幼稚園	園庭整備工事	F.							
補具	助	事	業	É	者	名	嘉手納町長									
実	旅	į		場		所	嘉手納町屋	良一丁目地内	7							
補助	事業	色の	成	果	の目	標	園舎の建替 しかし、 活動におけ このこと	建良幼稚園は整備後48年が経過し老朽化が著しかったため、平成28年度に 間舎の建替え工事を行った。 しかし、園庭については、現在も園舎建設時の裸地の状態であり、園児の屋外 計動における安全を十分に確保できていない状況である。 このことから、本事業により園庭を整備することで、園児の屋外活動時の安全 が確保し、教育環境の改善を図る。								
補助	〕事	Ī j	業	の	内	容	園庭整備工	庭整備工事 A=825㎡								
補助	事業	のり	台其	月及	び約	※期	令和元年度									
								令和元年					計			
事業	費	及で	びク	交亻	寸 金	額	事業費	円 39, 380, 000	円	円	円	円	円 39, 380, 000			
							交付金額	38, 000, 000					38, 000, 000			
		域化		~5		知	【教育環境の向上についての成果及び評価】 整備後、『広くなり、遊具も増え充実している』、『芝生やクッション性のある園庭になり、子ども達が転んだ時などの安全面を考えて作られていて、とても良いと思う』などの意見が寄せられ、教育活動の充実に繋がったことを確認できたため、本事業の成果は得られたものと評価した。 【地域住民への周知の実施状況について以下のとおり実施】 1)工事看板へ表示 2)町ホームページへ掲載(3月掲載済) 3)町の広報誌へ掲載(11月掲載)									
事業今	の i 後	收	善 担	昔旨	置 及	び応	引き続き、教育環境の維持保全に努める。									
事業の者 機	D評(関 (面に の i	- 際舌 月	して用る	ての第 の 有	第三 無	無									

補	助	-	事	業	名	比謝川遊歩	道急傾斜地原	崩落防止対策	5工事					
補	助	事	業	者	名	嘉手納町長	手納町長							
実	-	施	与	易	所	嘉手納町地	手納町地内							
補且	助事	業の	成身	₹の	目標	いこいの場 しかし、 安全な遊歩	本町、比謝川沿いに隣接する遊歩道は、日頃から町民の自然学習や健康増進及びこいの場として利用されている。 しかし、台風等の悪天候時には、急傾斜地から遊歩道への落石や倒木が多発し、 全な遊歩道の利用に支障を来している状況である。 このことから、本事業を実施することで、遊歩道利用者の安全を確保する。							
補	浦 助 事 業 の 内 容 整備工事 L=1,219.3m													
補具	助事 第	美の;	始期。	及び	終期	平成25年度~令和元年度								
							平成25~27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	計		
事	業 費	及	び交	付金	金額	事業費	円 141, 857, 940	円 187, 967, 760	円 100, 630, 908	円 64, 800, 000	円 95, 700, 000	円 590, 956, 608		
						交付金額	134, 110, 000	185, 000, 000	100, 000, 000	64, 500, 000	92, 000, 000	575, 610, 000		
	【遊歩道安全性の向上についての成果目標及び評価】 遊歩道環境の向上を図り、地域住民の生活環境の改善について、地域住民にアンケート調査を行った結果、崩落防止対策事業の「満足・やや満足」との回答が多く得られたことから、成果目標は達成できたと考える。 【地域住民への周知の実施状況について以下のとおり実施済】 1)町ホームページへ掲載 2)町広報誌2020年11月に掲載													
事;	業の改善措置及び今後、定期的に点検及び整備を行い、遊歩道を安全な状態に維持することに努め、後の対応活用を行っていく。													
	事業の評価に際しての第三 ・機関の活用の有無													

補 助 事 業 名	久得第二配水池築造工事(実施設計)								
補助事業者名	嘉手納町長								
実 施 場 所	嘉手納町字久得地内								
補助事業の成果の目標	本町の公共水道事業は、昭和39年に整備されたものである。 本町の配水池は現在1池のみであり、水道施設設計指針に基づく2池以上設置 に該当しないため、早急に1池築造が必要である。 また近年、水道施設の耐震化が求められており、本町においても住民の生活基 とである水の確保が重要なため、平成22年度に水道ビジョンを策定し、平成2 3年度から水道施設耐震化整備に着手している。 このことから、本事業により被災時の配水池被害を防止することが出来るよ 5、施設の耐震化を行い、地域住民の生活環境の維持向上を図る。								
補助事業の内容	実施設計 一式								
補助事業の始期及び終期	令和元年度								
事業費及び交付金額	令和元年度 計 円 円 円 円 円 円 で で付金額 23,100,000 23,100,000								
補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の 実 施 状 況	本事業において、耐震性の高い配水池を設計が出来たことから、本事業による成果が得られたと評価した。 地域住民に対し、本事業が特定防衛施設整備調整交付金による事業である旨を以下のとおり周知した。 1)町ホームページへの記載 2)町広報誌掲載 (11月広報誌掲載済)								
	安全で安心な飲料水を供給するために、耐震化を行い、災害に強い水道施設の整備を促進する。								
事業の評価に際しての第三 者機関の活用の有無	無								

補	助	Ę	j.	業	名	嘉手納小学	校外構整備二	匚事					
補	助	事	業	者	名	嘉手納町長							
実	Ţ	施	場	ij	所	嘉手納町字嘉手納地内							
本事業は、嘉手納小学校のブロック塀及び、それに伴う通路整備である。 既存のブロック塀は、既存不適格や経年劣化による老朽化が著しく、児童の安が十分に確保されていない状況である。 このことから、ブロック塀の建て替えを実施し、健全な教育環境に寄与するもである。また、ブロック塀建て替えと併せて管理用通路を整備し、学校の質的向と維持修繕の機能性向上を図るものである。									児童の安全 寄与するもの				
補	助:	事業	美 の)内	容	外構整備工	事 A=878㎡						
補具	助事第	巻の女	台期』	及び糸	 り期	令和元年度							
事	業 費	及で	が 交	付金	: 額	事業費	令和元年度 円 44,330,000	円	円	円	円	計 円 44, 330, 000	
							42, 000, 000					42, 000, 000	
	【教育環境の向上についての成果及び評価】整備後、『安心して通りやすくなった』、『見通しも良くなり、子どもたちの動整がよく見えるようになった』、『車いすで対応する場合もあるので利用しやすくなった』などの意見が寄せられ、教育活動の充実に繋がったことを確認できたため、本事業の成果は得られたものと評価した。 【地域住民への周知の実施状況について以下のとおり実施】 1)町ホームページへ掲載(5月掲載済) 2)町の広報誌へ掲載(11月掲載)												
事今	事業の改善措置及び 引き続き、教育環境の維持保全に努める。 今後の対応												
事業者	業の評 機 関	 価に の 活	- 際し 舌 用	ての の 有	育三 無	無							

補助事業名	学校ネットワーク機器等購入事業								
補助事業者名	嘉手納町長								
実 施 場 所	嘉手納町字嘉手納地内及び字屋良地内								
補助事業の成果の目標	嘉手納町立学校ネットワーク機器等購入は、児童生徒等がコンピューターやインターネットを活用し情報社会に主体的に対応できる「情報活用能力」の育成、ICT機器を活用し児童生徒等の学習に対する興味・関心を高めるなど「わかる受業」の構築、そして情報モラルの向上を図ることを目的に町内各小中学校等におけるパソコン教室等に備品を整備するものである。 現在導入されているパソコン等機器は、経年劣化による故障や動作の不具合等が多発しており、授業の円滑な運営に支障をきたしている状況である。本事業により機器を更新することにより、授業運営が確保され教育環境の改善こ寄与するものである。								
補 助 事 業 の 内 容	パソコン 197台 カラープリンタ 6台 サーバー機器 一式								
補助事業の始期及び終期	令和元年度								
	令和元年度計								
事業費及び交付金額	事業費 108, 166, 465 円 円 円 円 円 108, 166, 46								
	交付金額 105,000,000 105,000,000								
補助事業の成果及び評価 並びに地域住民への周知 の 実 施 状 況	【教育環境の向上についての成果及び評価】整備後、『立ち上がりが早くなりスムーズに授業できるようになった』、『処理速度が上がったので調べ学習がスムーズにできるようになった』、『情報の外部持出しができないことから情報漏洩が防げる』などの意見が寄せられ、教育活動の充実に繋がったことを確認できた。したがって、本事業の成果は得られたものと評価した。 【地域住民への周知の実施状況について以下のとおり実施】 1)町ホームページへ掲載(5月掲載済) 2)町の広報誌へ掲載(11月掲載済) 3)各機器へ「令和元年度沖縄防衛局調整交付金事業」と表示								
事業の改善措置及び今後の対応	引き続き、教育環境の維持保全に努める。								
事業の評価に際しての第三 者機関の活用の有無									

補	助		事	;	業	名	道路施設関	連備品購入事	事業						
補	助	事	当	É	者	名	嘉手納町長	幂手納町長							
実		施		場		所	嘉手納町字	喜手納町字嘉手納地内							
補」	助事	業の)成	果	の目	標	などによる ることから たす恐れが このこと	本町では、管理車両を活用し、道路の安全点検、警報発令時の見回りや台風襲来 どによる災害時の対応などを行っている。しかし、購入から20年以上経過してい ことから、経年劣化によるキズや故障個所が目立ってきており、業務に支障をき す恐れがある。 このことから、本事業により車両を更新することで、安定したパトロール業務を 施できる環境を維持する。							
補	助	事	業	の	内	容	道路施設管	理車両 1台							
補具	助事美	業の	始其	月及	えび糸	冬期	令和元年度								
事	業 費	及	びき	交	付 金	額	事業費	令和元年度 円 2,893,000 2,890,000	円	円	円	円	計 2,893,000 2,890,000		
	助事 びに 実	也域		~ 5			車両を更新 安定した 地域住民本 事住民本 り 車両へ 1) 車両へ	の成果及びました。 の成果及びまた。 の成果及びまた。 のの表が実施できた。 のののののののののののののののののののののののののののののののののののの	より、週3回、 きるようにな 実施状況】 周辺整備調整 った。 沖縄防衛局	さった。 を交付金によ	り実施され	ている旨を以	っており、 以下の方法に		
事今	業 の 後		善 抱 の				今後、定 る。	今後、定期的に点検及び整備を行い、パトロール業務を実施できる環境を維持する。							
事業者	業の評 機 関	が	こ際 活)	し [*]	ての第 の 有	第三	無								

補助事業名	兼久海浜公園ウォーターガーデン遊具修繕								
補助事業者名									
	嘉手納町字兼久地内								
実 施 場 所	新于利则于来久地的 ————————————————————————————————————								
補助事業の成果の目標	嘉手納町兼久海浜公園ウォーターガーデンは、平成24年4月の供用開始以降、毎年多くの方々に利用されている人気の施設である。しかし、整備後8年が経過しており、施設内に設置しているウォータースライダーは使用や経年劣化により滑走面の劣化や損傷が著しく、事故や怪我などにつながる恐れがあるため早急な対策が必要である。 このことから、本事業でウォーターガーデン遊具を補修することで、安心・安全に利用できる施設環境の改善を図るものである。								
補助事業の内容	遊具修繕 滑走面補修 一式								
補助事業の始期及 び終期	令和元年度								
	令和元年度計								
事業費及び交付金									
類	事業費 10,395,000 10,395,000								
	交付金額 10,000,000 10,000,000								
補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況	【事業の成果及び評価】 本事業により遊具を補修したことで、安心・安全に利用できる施設環境の改善を図ることができた。また整備後、一年間、故障等もないため、安全性が確保されていると評価する。 【地域住民への周知】 1)町ホームページへ掲載済み 2)町の広報誌2020年11月号へ掲載済み								
事業の改善策及び 今後の対応	長期に渡たり遊具を使用するために、適切な管理を行い、定期的に保守点検を実施する。								
事業の評価に際し ての第三者機関の 活用の有無	無								

補	助	J	事	Ì		名	屋良小学校図書館備品購入							
補	助	事	Ī	業	者	名	嘉手納町長							
実		施		場		所	手納町屋良地内							
補	助事	業(の成	:果	の目	標	良小学校図書館備品購入は、児童生徒が図書館において、創造力培い、学習にする興味・関心等を呼び起こし、豊かな心を育み、自由な読書活動や読書指導充実を図ることを目的にその環境を整備するものである。在、屋良小学校図書館の学習閲覧用机及び椅子は、平成5年度に整備されたもで、経年劣化による破損等の不具合により、ぐらつき、表面木材めくれ及びさくれ等が多数みられ、児童生徒の読書活動等に支障をきたしている状況であ。回、屋良小学校新校舎への引っ越しに伴い、本事業による図書館備品の整備をうことで、快適な図書館運営が確保され、教育環境の改善に寄与するものであ。							
補	助	事	業	0)	内	容	長テーブル(展示台用) 1台 長テーブル 6台 イス 38脚							
補	助事	業の	始其	朝及	び約		令和元年度							
事	業費	及	び	交亻	寸 金	:額	令和元年 計 円円円円円円円円 円円円円 事業費 4,840,000 4,840,000 交付金額 4,800,000 4,800,000							
		也坷		えへ		知知	【事業の成果及び評価】 ・整備後、児童生徒へアンケート調査を行った結果、長テーブル(展示台用) や閲覧用の長テーブルや椅子において、設備の改善が図れたかの問いに対し「良くなった・どちらかといえば良くなった」の回答が多く得られたことから、成果 目標は達成できたと考える。 【地域住民への周知】 1)町ホームページへ掲載済。 2)本事業で整備した図書館備品に「令和元年度特定防衛施設周辺整備調整交付金事業」と表示して住民へ周知している。							
事今		改	善の	措置文	置 及	び応	長期に渡たり当該備品を使用するために、学校側へ児童生徒に対し適切な使用方 法について指導を行うよう要請していく。							
事者	業のi 機 関	平価	に際活	え 用の	で の か 有	9三 無	無							

補	助	ı I	事	業	名	嘉手納町商	工業研修等於	拖設空調設備	前改修工事						
補	助	事	業	者	名	嘉手納町長	蒼手納町長								
実		施	ţ	旦勿	所	嘉手納町字	喜手納町字嘉手納地内								
補」	助事	業の	成身	果の	目標	に係る各種民 供しを目的の空 が、施設で でのことか	語手納町商工業研修等施設は、町内での起業、経営・運営方法に関するノウハウ に係る各種研修会や、商工業に関する説明会、その他会議等を開催できる場を提 はし、町民経済の向上と商工業従事者の育成を図り、地域産業の振興に資するこ を目的に、昭和61年度に整備された施設である。 4施設の空調設備について、経年劣化により冷却機能が失われ現在稼働しておら 、施設運営に支障を来している状況である。 このことから、本事業により空調設備の改修工事を行い、円滑な施設運営を確保 、地域産業の振興に寄与する。								
補	助	事	業(の内	容		備工事 空調改修工事 研修室 小研修室 S=177.9㎡								
補具	助事	業の	始期	及びテ	終期	令和元年度									
							令和元年度					計			
事	業 費	及	び交	: 付 釒	含額	事業費	円 9, 350, 000	円	円	円	円	9, 350, 000			
						交付金額	8, 700, 000					8, 700, 000			
		也域		及びi への! 状		事業完了後 れずする。 【地域だ民本 により により に大 により に大 に大 に大 に は に は に に は に に に に れ に れ に れ に れ に れ	【地域住民への周知の状況】 本事業が特定防衛施設周辺整備調整交付金により実施されている旨を以下の方法 により住民への周知を行った。								
事今	業 の 後		善 措 の	· 置 万 対	及び応	今後とも円滑な施設運営のため、整備した空調を適切に管理していく。									
				ての?		無									

補	助	h	事		業	名	道の駅かで	な学習展示室	室等空調設備	前改修工事					
補	助	事	7	業	者	名	嘉手納町長								
実		施		場		所	嘉手納町字	手納町字屋良地内							
補	助事	業	の原	戈 果	の目	標	年間約50万 れている施 が多発して このこと	道の駅かでなは平成15年4月に開業し、嘉手納基地が一望できる施設特性などから F間約50万人が訪れる、嘉手納町の観光の拠点の場として多くの利用者に親しま れている施設であるが、整備後16年が経過し空調設備の経年劣化等による不具合 が多発しており、施設運営に支障を来している状況である。 このことから、本事業により空調設備の改修工事を行い、円滑な施設運営を確 よし、地域産業の振興に寄与する。							
補	助	事	業	の	内	容	空調改修工	調改修工事 休憩室 学習展示室 S=233. 76㎡							
補	助事	業の	始	期及	なび糸		令和元年度								
								令和元年度					計		
事	業費	費 及	び	交付	付 金	: 額	事業費	円 7, 524, 000	円	円	円	円	円 7, 524, 000		
							交付金額	7, 000, 000					7, 000, 000		
	助事 びに 実	地垣		民^			事業完了後 れず円滑な 価する。 【地域住民 ・町広報誌	の成果及び言、設置した名が設置される。 を設定営を移 への周知のは の掲載済(のに	空調機の年間 権保したこと	から、本事 1月号)	業による成	果は得られた			
事今	業 Ø		善の		置 及 対	び応	当該施設の利用者が快適に使用できるよう維持管理や適切な使用に取り組む。								
	業のi 機 B						無								

補助事業名	学習等供用施設用地買収
補助事業者名	嘉手納町長
実 施 場 所	嘉手納町字嘉手納地内
	北区及び南区コミュニティーセンターは地域のコミュニテイー形成の基礎となる自治会の活動拠点であり、各種団体の活動も行われる重要な施設であるが、一部貸付契約を締結している県有地について貸付規定の改正により契約更新手続きが不可となり、今後の施設利用に支障が無いよう各区からも要望があったものである。 このことから、本事業により北区・南区コミュニティーセンターの敷地を確保することにより、安定的な利活用を図る。
補助事業の内容	用地買収 (北区)字嘉手納西原312番196 1,033.00㎡ (南区)字嘉手納仲原593番31 36.08㎡ 字嘉手納仲原593番32 15.00㎡
補助事業の始期及び終 期	令和元年度
事業費及び交付金額	令和元年度 計 中 円<
補助事業の成果及び評価 価 並びに地域住民への周	【北区・南区コミュニティーセンターの敷地を確保することにより、安定的な利活用を図るための成果及び評価】 北区・南区の住民(施設利用者)よりアンケート調査を実施し、現在のコミュニティーセンターの場所は、「良い場所にある」88%、コミュニーセンターは、地域コミュニティー形成の場として「重要である」94%、今後もコミュニティーセンターを「活用したい」87%という結果が出ており、県有地の購入による成果及び評価として目標を達成していると評価した。 【地域住民への周知の実施状況について下記の通り実施】 1)町ホームページへ掲載(令和2年3月23日)2)町の広報誌へ掲載(令和2年11月号)
事業の改善措置及び 今 後 の 対 応	今後とも安定的な利活用を図るため、適正な運営に努める。
事業の評価に際しての第 三者機関の活用の有無	無

事 業 評 価 書

補 助 事 業 名	兼久海浜	公園整備工事									
補 助 事 業 者 名	嘉手納町	嘉手納町長									
実 施 場 所	嘉手納町字兼久地内										
補助事業の成果の目標	嘉手納町字兼久地内に位置する兼久海浜公園について、現在、整備後約30年が経過し、施設機能の老朽化に加え、整備当初から近年にかけて利用者需要が変化している状況である。 このことから、特定防衛施設周辺整備調整交付金事業により本公園の総合的な再整備を行うことで、今後の町民等のニーズに合った施設機能の向上及び町民等の余暇活動の充実化に寄与するものである。										
補助事業の内容	兼久海浜公園の再整備										
補助事業の始期及び終期	平成28年	度から令和7年	手度まで								
			28年度	29年度	30年度	令和元年度					
			円	円	円	円					
	基金	交付金	98, 260, 000	58, 905, 000	218, 027, 000	116, 541, 000					
事業費及び交付金額	造成額	市町村費等	0	0	0	0					
		その他	0	0	0	0					
		計	98, 260, 000	58, 905, 000	218, 027, 000	116, 541, 000					
	基金》	処分額	0	0	0	3, 740, 000					
	基金	注残額	98, 260, 000	157, 165, 000	375, 192, 000	487, 993, 000					
補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況	【補助事業の成果及び評価】 本事業において、町民等のニーズに合った施設機能の設計が出来たことから、本事業による成果が得られたと評価する。 【地域住民への周知の実施状況】 地域住民に対し、本事業が特定防衛施設周辺整備調整交付金による事業である旨を、以下のとおり周知。 1) 町ホームページへ掲載 2) 町の広報誌(令和2年11月号)へ掲載										
事業の改善策及び今後の対応	今後も施設機能を向上・維持し、町民等の余暇活動の充実化を行う。										
事業の評価に際しての 第三者機関の活用の有 無	無										